

ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —



潜入!!

庄内農業高等学校

ひまわりクラブ(泉第二)

八月五日、夏休みバス研修として『庄内農業高等学校』へおじゃましてきました。元々、今年度の親子レクの企画段階で保護者より上がった案。親子レクは別の企画になったのですが、「せっかく出たおもしろ企画!」「このまま流れてしまうのはもったいない!」と言うことで、提案してくれた保護者の方に相談。保護者の方が学校との交渉や打ち合わせを行ってくれて、見学が実現しました。

バス研修当日。この夏最初の猛暑日となり、熱中症にも気をつけながら歩いて見学を開始。明らかに広い学校敷地と校舎の大きさ、敷地の中なのに大きな川と橋があったり……。子ども達は「えっ? これ全部学校の中なの!」と驚きの様子でした。

二グループに分かれ、ハウス園芸と野菜・今年できたばかりの高校専用のライスセンター・畜舎・キャベツの種植え作業・果樹園を見学。畜舎では子ども達の姿を見て牛が大興奮と言う場面も。また、定期的に収穫できるものがないと伺っていたのですが、担当の先生のサプライズでミニトマトを収穫。食べさせてもらえることもできました。

農業高校での見学は、子ども達にとって貴重な夏の体験と思い出になりました。

(指導員 佐藤久美子)



海を満喫！サマーレク

みさとクラブ（平田）

梅雨明け間近の七月十四日、雨や風が心配される中、みんなの願いが通じて、無事海浜自然の家でのサマーレクを行いました。

午前は西浜でカヌー、午後は釜磯でカニ釣り・磯遊びを計画。海浜自然の家の指導員からは、「こんなハードな活動をするところはあまりない」と言われるくらいの海尽くしの活動でしたが、保護者のみなさんの、「せっかくだから、めいっぱい海で遊ばせたい」という思いを込めて計画しました。

乗り方の説明やパドルの漕ぎ方の詳しい説明を聞いた後、いよいよ乗船。三年生以下は親子で、四年生以上は一人で乗りました。カヌーは初めてという子も多かつ



親子でカヌーも楽しめるよ!!



♪う～み～は、広いな～、大きいな～♪

たのですが、広い海を思い思いの方向へスイスイ進んで楽しみました。

昼食後、子ども達は一目散に海へ。潜ったり水を掛け合ったり、みんなの笑顔が弾けました。湧き出す伏流水の冷たさにはビックリ！足を入れると、ズボーンと潜り込んで抜け出せなくなるような感じにキャーキャー言いながらも、その感触を楽しんでいました。また、カニ釣りで見せた忍耐強さや集中力には驚かされました。

ふだんできない体験をいっぱいして、親子で楽しんだ夏の一日となりました。（指導員 佐藤 貴子）

僕らのそうめん奮闘記

わくわくクラブ（若浜）

わくわくクラブの子ども達が、毎年楽しみにしている夏の行事。本物の竹を使用した「流しそうめん」。

そうめんの日、登所人数は約八十名。朝から大鍋で茹でること六回。その間に四年生からは、一緒に流すフルーツやきゅうりを切ってもらいます。いよいよお昼近くになると、グループ毎の順番決め。子ども達にとってはこれが重要。二十人毎の四グループは指導員が、その日登所している班の人数を調整して決めています。

割り箸を割り、どんぶりにお好



♪まだかな・まだかな～♪

みでネギとわさびを入れ、いざ十五分の一回勝負。お手伝い係の三年生の「始めるよー」の声で、いよいよ流しそうめんがスタート！今か今かと流れてくるそうめんを待つ子ども達に、カメラを向けても誰もこちら見てくれません。どんぶりにそうめんを入れ過ぎて、すぐにつゆが薄くなってしまいうや、流れてくるそうめんを箸で止めて「ずるいよ！」と言われる子など、十五分間で様々な姿が見られました。

今年はそうめん大好きな子が多く、この夏休み二回実施して、合計二十キロ茹でました。来年はどんな奮闘が見られるか今から楽しみです。

(指導員 成田 好)



本物の竹の流しそうめんは、おいしい！

暑さに負けずに パワー溢れたバス研修 よつばクラブ(亀ヶ崎第二)

夏休みの中で子ども達が最も楽しみにしていたバス研修が、八月八日に行われました。

午前中は市営体育館で室内スポーツを体験。連日猛暑が続いていて、夏休み中は狭い保育室での生活が多かったのですが、当日は広い場所でのびのびと遊ぶことができ、子ども達は思い切り体を動かしてバドミントンや卓球などを楽しんでいます。運動後はみんな着替えて、お弁当を盛り盛り食べて、水分補給と塩分チャージで体力も回復！

午後からは、酒田海洋センターに移動し、酒田の港について学習しました。千石船の模型や古い資



大海原から望む酒田の景色もサイコー♪

あなたの健康チェック？

筋肉痛とストレッチ運動

誰でも一度は筋肉痛になったことがあると思います。一般的には数時間から数日の時間を置いて起こる筋肉の痛みのことです。これは普段使わない筋肉を使いすぎたときに現れます。傷ついた筋肉を修復する際、小さな炎症が起きます。疲労して縮んだ筋肉を伸ばす運動がストレッチ運動と呼ばれます。

ストレッチのポイントは「どこの筋肉を伸ばしているか」を意識すること、呼吸は止めないこと、反動をつけずに10～20秒程度ゆっくり伸ばすことです。

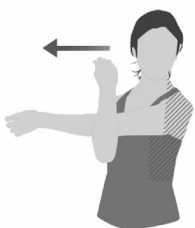
筋肉のメンテナンスをして、筋肉痛に悩まされない身体を作りましょう。

◎太もも・ふくらはぎの ストレッチ

身体が硬い方は、出来るだけ前屈したところで手を止めてください。



◎肩のストレッチ ◎脇腹と肩のストレッチ



(佐藤克実)

料を見て、酒田の海の歴史を学んだ他、海運・船舶など様々な展示を見ながら港についての知識を深めました。

また、三年生以上は港湾業務艇『みずほ』に乗って乗船見学も行いました。馴染み深い酒田港も、海上から見るにより新しい発見が沢山あったようで、「すごい！」と驚いている子ども達の目はキラキラ輝いていました。デッキから眺める風車などの景色もとてもきれいでした。定期船『とびしま』にもすれ違い、みんなで大きく手を振りました。

厳しい暑さにも負けず、思い切

り楽しんだり学ぶことができ、笑顔いっぱい、思い出したいの最高の一日となりました。

(指導員 齋藤あすか)



映像を見ながらみんなで力を合わせて海のクイズに挑戦！



「お楽しみ昼食」(松陵)
夏はやっぱり冷し中華だよねー!! サンドパンもいいよ!?



「七夕おやつそうめん」(琢成)
僕達の作った夏バージョンおやつだよ!

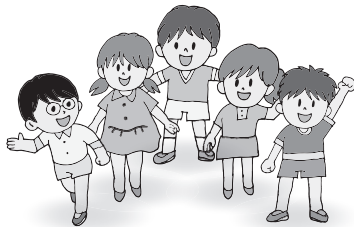


「お楽しみ昼食」(亀ヶ崎第一)
夏はやっぱり冷し中華だよねー!! コロッケもいいよ!?

37才の学童保育の今

…がくほれん、あれこれ…

酒田市の学童保育は、昭和五十七年(一九八二年)に学童保育所として初めて浜田学童が設立され、地域の方々と保護者が運営する「地域主導型」の学童が二十名ほどの入所児童でスタート。昭和六十一年には、亀城・港南学童が設立され、平成に入り三十年間で市内に二十一の学童が設立されました。現在、酒田市には二十三の学童があり、その内の十四学童が、がくほれんの運営となっています。本年度四月の酒田市全体の学童入所児童数は1232名となり、がくほれんの入所児童数は963名でがくほれんのその占める割合は78.2%になります。がくほれんの十四学童の十二小学校の新一年生は531名、その内、学童入所児童数は289名で新一年生の入所率は54.4%になりました。がくほれんの新一年生の入所割合が



50%を超えたのは初めての出来事です。

このような状況の中で、国は、「すべての子どもの良質な教育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援すること」を目的に、平成二十七年から子ども・子育て支援新制度をスタートさせました。その中で、放課後児童クラブ(学童)関係では、共働き家庭などの「小一の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するために、子ども達が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるよう環境整備に動き出しました。

がくほれんとしても、新制度実施の初年度に当たる平成二十七年から早朝・延長保育を管内全学童足並み揃えて完全実施し、保護者の皆様のニーズに応えることができましたものと思っています。

また、都道府県認定の「放課後児童支援員」の認定資格制度が始まり支援員になりうる条件を満たした指導員はほぼ全員が研修を重ね、「放課後児

童支援員」の資格を取得しました。この新制度は、放課後児童クラブ(学童)の位置づけが明確化され、国の学童に求めるものの大きさ、学童の重要性が伝わってくる内容で、山形県や酒田市の施策を通じ学童保育の充実と位置づけの向上が期待されています。



(事務局)

『黄色いレシート キャンペーン』

皆様からご協力いただいています『黄色いレシートキャンペーン』で、イオンからの平成三十年度の受贈額は41,800円になりました。「鉛筆削り、色鉛筆、折り紙、トランプ」を、六月二十三日のがくほれん総会の席上で全学童に贈呈しました。ご協力ありがとうございました。

あとがき

湿度が高くジメジメした季節でしたが、子ども達は元気に外へ飛び出し、多くの貴重な体験を積んだようです。この体験の積み重ねが、子ども達が心身ともに健全に成長する手助けになれば幸いです。

(杉山)